



議会だより

# ピツシリ

第 76 号

北海道苫前郡羽幌町南町

TEL(0164)62-1211(内線510)

FAX(0164)62-1278

発行 羽幌町議会

編集 議会広報特別委員会

発行日 平成22年4月28日

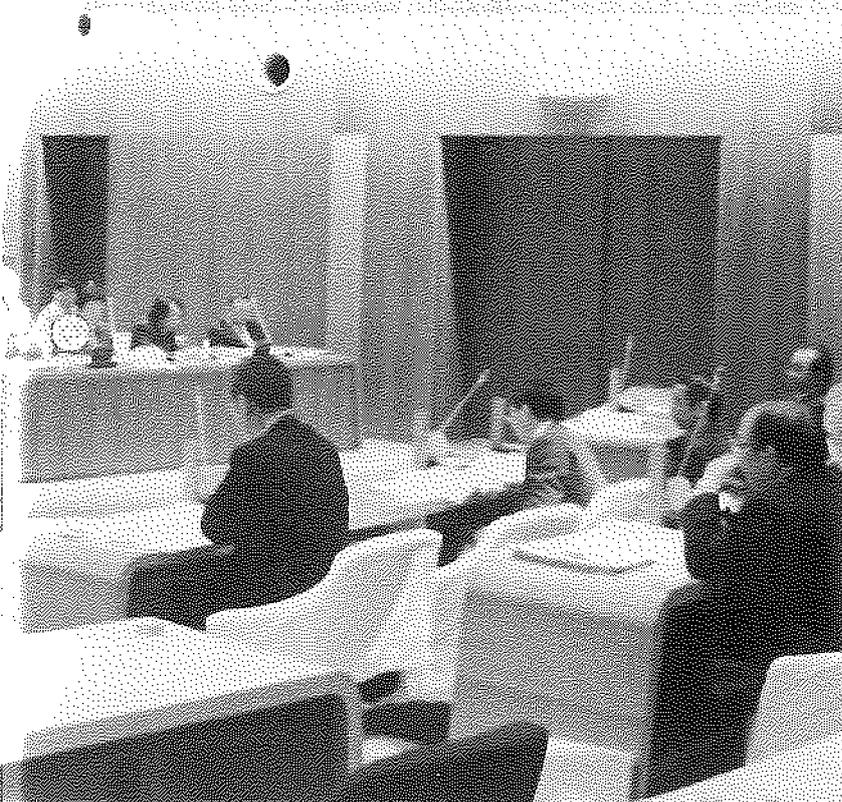


- ▶ P 2 ..... 3 月 定 例 議 会
- ▶ P 4 ..... 一 般 質 問
- ▶ P 5 ..... 予 算 特 別 委 員 会
- ▶ P 11 ..... 常 任 委 員 会 報 告
- ▶ P 12 ..... 議 会 日 誌

# 例会

～ 12日

- 議案 — 24件
- 同意 — 1件



舟橋泰博町長

平成22年度

町政執行方針

山本孝雄教育長

平成22年度

教育行政執行方針

## 報告

平成21年度定期監査報告

(第3次)

### 成立した主な事項

- 羽幌町教育施設整備基金条例
- 羽幌町営住宅等整備基金条例
- 職員給与に関する条例の一部を改正する条例
- 羽幌町職員の旅費に関する条例の一部を改正する条例
- 羽幌町税条例の一部を改正する条例
- 羽幌町営住宅管理条例の一部を改正する条例
- 羽幌町営住宅等駐車場管理条例
- 北海道市町村総合事務組合規約の変更について
- 北海道市町村職員退職手当組合規約の変更について
- 北海道町村議会議員公務災害補償等組合規約の変更について
- 平成21年度羽幌町一般会計補正予算  
146,688千円追加

平成21年度羽幌町国民健康保険事業特別会計補正予算  
8,937千円減額

平成21年度羽幌町老人保健医療特別会計補正予算  
2,656千円追加

平成21年度羽幌町後期高齢者医療特別会計補正予算  
5,322千円減額

平成21年度羽幌町介護保険事業特別会計補正予算  
262千円減額

平成21年度羽幌町下水道事業特別会計補正予算  
28,000千円減額

### 平成22年度当初予算

- 一般会計  
5,630,000千円
- 国民健康保険事業特別会計  
1,204,700千円
- 老人保健医療特別会計  
1,000千円
- 後期高齢者医療特別会計  
109,600千円
- 介護保険事業特別会計  
1,222,000千円

# 3月定

3月9日

- 。報告 — 1件
- 。一般質問 — 1件



## 同 意

羽幌町監査委員

現委員 米澤幸雄氏の任期満了に伴い

長谷川 一 志 氏を選任

。下水道事業特別会計

546,300千円

。簡易水道事業特別会計

52,100千円

。水道事業会計

\*収益的

収入 249,214千円

支出 265,057千円

\*資本的

収入 0千円

支出 100,817千円

閉会中の各委員会の  
調査審議事項（4  
5日）

### 総務産業常任委員会

- 1, 国の事業仕分け等に伴う町への影響について
- 2, 町有林の管理状況について
- 3, 上下水道事業施設の現地視察について
- 4, 商工業の振興並びに雇用に策について
- 5, 留萌中部森林組合の運営支援について
- 6, 緊急を要する所管事項について

### 文教厚生常任委員会

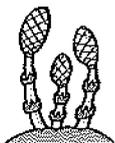
- 1, 特別養護老人ホームの進捗状況について
- 2, 緊急を要する所管事項について

### 議会運営委員会

- 1, 本会議の会期及び日程に関する事項について
- 2, 議会の運営等に関する事項について
- 3, 議長の諮問に関する事項について

### 予算特別委員会

- 予算関連議案審議のため
- 委員長 熊谷 俊幸  
副委員長 大山新太郎  
委員 全議員



# 町行政の課題を問う!!

## 一般質問

### ・羽幌小学校校舎改築

### 及び保育所の改築と運営について

室田憲作議員

【質問】羽幌小学校の校舎改築について、この度校舎改築に向け整備基金の積み立て、あるいは耐力度調査の実施等は町民にとっても明るいニュースと言えよう。

築55年、校舎の老朽化は激しく児童が安心して学習できる教育環境を造るため建設年度を明らかにし執行することが必要と考えるがどうか。

◇次に、保育所の改築であります。財源的な問題から先送りとなっている。ならば小学校の改築と合わせ保育所を併設してはとの意見もあるがどうか。

◇3点目、保育所の建設候補地の一つであった旧役場跡地を、この度農協に売却したいとの事であるが、他に候補地があつてのことか。

◇最後に、保育所の園長の公募があつたが、募集要項を見ると一年任期とされるが、園の責任者が毎年交替をして経営上問題はないのか。

また、町長は「町営化の方向性を見定めながら職員体制を考へたい」との事であるが近い将来、民間への委託を考へてのことか。



【町長】羽幌小学校の改築については、校舎の現状や改築の必要性を十分に理解しながらも、多額の財源を要することから、これまで24年度からの総合振興計画期間中における早期着工を検討してきたが、本年度より計画的な改築に向けて「教育施設整備基金」を設け、22年度には耐力度調査を実施し、調査の結果を基に具体的な「改築計画」を立て早期建設を目指して準備をしていきたいと考えています。

◆2点目の保育所の小学校との併設ですが、保育園と小学校の円滑なつながりの必要性は認めるが、教育内容や指導方法の違い、設置目的が異なることから併設には課題が多く、現時点では併設は考えていません。

◆3点目の保育所の建設であるが、担当課では建設整備費、保育所運営の財源を含め検討をしております。

「認定こども園」を含め園の施策が今年示されるので、新しい情報が提供できる時点で検討委員会を開催したいと考えております。

建設予定地については施設

の骨格が決まっていないことから未定であります。

◆4点目の園長の任期であります。一定の期間を定め任用の更新をする予定です。

保育所の将来の民営化については、行政の簡素化を図るため、民間で出来るものは民間にと考えております。

【質問】小学校の改築について財政の厳しさは理解するがそう時間におけるものではない。振興計画の期間中における早期着工と言われるがそれはいつか。

【町長】22年度の調査の結果を基に滞りなく進めたいが、現段階では建設年度を示せないが、その後の調査・設計・補助申請などの手続き等もあり着上まで3年位はかかるものと考えています。

【質問】現時点で事業費の総額をどれ位におさえ、基金の積み立て目標額はどの程度なのか。国の補助率はどの位見込めるのか。

【学校管理課長】

羽幌町の類似町村を参考にすると、1平方 22、23万円で仮に校舎面積を4千平方として約10億円となる。その他解体工事費や外構工事等を含

めると10数億円となる。  
国の補助率は10分の5.5程度で  
す。

【質問】保育所を併設すると  
課題が多いとのことだがその  
課題とは何か。

【教育長】幼・保・小の連携  
の重要性は意識しているが生  
活スタイルの違い等ハードの  
面に課題があると考えます。

【質問】経済面から見ると併  
設がよいのでは、そのことに  
より時には年齢差の違う子達  
と触れ合うことができたり、  
給食センターの活用などメリ  
ットがあると思うがどうか。

【町長】幼児教育と小学校教  
育の中でハード面を、財政的  
な面から論議すべきではない  
と考えている。勿論、連携の  
大切さは十分に理解している  
が、保育園の中で忘れがちな  
ことは、低年齢層の0歳児か  
ら2歳児の子達の保育もされ  
ていることです。そうしたこ  
とを考えると併設は無理があ  
ると思います。

【質問】建設予定地はどのよ  
うに考えているのか。

【町長】検討委員会には保育  
所の今後の在り方等について  
考えを求めていたが、敷地ま  
でも発展していたことに戸

惑いがある。土地の決定につ  
いては、まちづくり等の観点  
も含めて多方面から論議が必  
要と考えています。

【質問】幼保一元化、総合的  
な施設の建設。運営面で民間  
に任せるものは民間にと言わ  
れるが、再度確認をしたい。

【町長】民間に委託という考  
え方には変わりはない。

しかし、どのような形で民  
に任せるのか。また、どこ  
の民が受け皿になり得るのか等  
今後テーブルに載せ、その方  
向を見極めながら出来るだけ  
迅速に取り組んで行きたい。



## 平成22年度 予算特別委員会

審議状況

- ・ 一般会計 56億3,000万円
- ・ 特別会計 31億3,570万円
- ・ 合 計 87億6,570万円

### 総務費

【Q】行政サービスコーナー  
の利用実施について。

【A】21年度の利用者は278人  
(月平均23人程度)

【Q】月平均23人程度であれ  
ば一日に一人か二人の利用者  
しかない。賃料は年間30  
万円程度であるが、職員が毎  
日交代で従事している。職員  
の労力を計算すると、この場  
所に必要なのか疑問である。  
高齢者人口が増えている  
現在、川北の老人福祉センタ  
ー近郊にあればと言う声が聞  
こえてくる。今後も場所も含  
め、継続して行く考えなの  
か。

【A】サービスコーナーその  
ものの状況が悪いのか、他の  
利用の仕方がないのか等様々  
な観点から今後の課題とし  
た。

【Q】人づくり事業補助金の  
利用されているおま内容と  
利用件数について。

【A】平成21年度は1件で高  
校の教員がニュージールラン  
ドのラクビー合宿に15万円程補  
助している。

【Q】利用件数が少ないのは、  
縛りがきつすぎるのではない  
か、委員会等の意見を聞き、  
規程等を見直し活用しやすい  
ような方向を考えて欲しい。

【Q】地デジ放送施設奨励金  
の内容について。

【A】民間のテレビ会社5社  
が中継設備を整備しその設備  
に固定資産税がかかるため、  
その税に見合う分を3年間に  
限り奨励金として支援した  
い。他町村も支援している。

【Q】地デジに関しては、焼  
尻の西浦地区が外れる。その  
対応について。

【A】窓口のサポートセンタ  
ーに照会したところ、西浦地  
区については、枝幸の方にあ  
るアンテナ・シリコマ中継所  
から受信できるシミュレーシ  
ョンとなっているが、具体的  
にはその地区の調査を実施す  
るとのこと。その結果を待つ  
て検討したい。

【Q】島の住民も地デジ対応  
のテレビの入れ替えが始まっ  
ている。問題なのはNHKす  
ら受信出来ないと言う現状で  
ある、それらも調査し島民に  
も説明願いたい。

【Q】離島航路の欠損金が増  
額となっている。以前は1億

## 民生費

円弱で推移していたが、22年度欠損は約1億8千万円、町補助金約2千7百万円。増額となっている理由とこの数年の推移について。

【A】過去5年間の推移で、毎年旅客数が5千人前後の幅で落ちているのと、経済危機のあおりを受けて、灯油・重油の高騰の影響を受けたが、国の特例措置で、これまで20年度までは60〜70%前後の補助率で推移していたが、21年度は82%の補助率となった。

【Q】収益が大幅に落ち込んでいるのに経費は始ど変わらない。年間の町補助金が2千7百万円出てくるとなれば変化が大きすぎる。これをずっと認めると言う事は問題だと思ふ、町の認識は。

【A】現在、運輸局と道と協議をして、危機認識は持っている。現在の連絡会議を拡大した形で改善協議会を4月に立上げる事で協議している。改善協議会の中では、1年間でスケジュールを設け、改善計画を策定する。その中で新



造船の計画も含めて、抜本的な改善の計画を立てる。

【Q】離島航路欠損補助金は今後も特別交付税で補てんが見込めるのか。

【A】今後においても、特別交付税で補填していただく事は確認している。

【Q】今年度の繰越明許費で離島地区情報通信基盤整備事業2億8千8百万円の最終的な補助率について。

【A】町の負担としては、1千6百万円程度で、この部分は辺地債の対象となり、実質的な町負担は3百万円程度となり、9月補正時点から約半分の額で整備が可能。

【Q】社協のあり方について、特別養護老人ホームを社協に指定管理者とした時、職員給与と体系の見直し等の事務作業の為、町がそれに見合う人件費を補助し、常務理事体制にした。その事務作業も終了したと思うが、今回、会長になってくれる人がいないとの理由で会長兼常務理事となった。現在の状況での会長職は責任が重く、会長を受けてくれる人はいない。この際、本来の社協の業務と特老を切り離し別法人に指定管理すべきと思うが。

【A】社協は公的の強い法人であり、将来もっともっと独自性の持った自分達の力で動くことが理想だ、それを目指した組織だと思っている。

【Q】被用者小学校修了前特例給付はどの様な子供達が対象になるのか。

【A】被用者（雇われている方）非被用者（自営業の方）の違いで、具体的には、国民年金・厚生年金を掛けているかに分かれ、小学校を卒業す

## 衛生費

るまでの子供に対し支払っていたもの。新年度からは子供手当になるが、今年の2〜3月分については児童手当で支給する事になる。

【Q】女性特有のがん検診は出来るだけ早いうち、中学生あたりから検査を実施したほうがより効果があると言われている。他町村は単独で実施している町村が増えている。この内容は町はどの様に考えているのか。

【A】早期がんの発見と言うことで継続して実施している婦人科検診に加えて平成21年度は国の全額補助で女性特有のがん検診事業として、乳がん、子宮がん検診を実施した。

22年度は前年度と同じ内容の検診を国2分の1補助、残り2分の1は町負担として実施する。23年度は国の方針が決定してから検討する。

【Q】町単独で実施する考えはないか。

【A】単独では考えていない。【Q】町の単独事業として検討すべき、方向性を伺う。

【A】女性特有のがん検診は21年度国の施策で実施したが、町では乳がん子宮検診は継続して行っている。さらに、21年度は子宮がん低年齢化として町単独で日数を増やし春と秋に実施。出来るだけ受診しやすいように、経緯を見ながら検討していく。

【Q】子宮頸がん予防ワクチンについて、他町村も独自で実施しているところがある。羽幌町も単独で考える時期ではないか。

【A】ワクチンは認定されているが、その効果や供給量等については、不確定部分があるため、今後色々な角度から検討したい。

【Q】合併処理浄化槽設置補助の予算が昨年度より大幅に増額になっている。その理由は。

【A】基本的には下水道エリア以外について合併浄化槽は唯一の水酸化であり、国・町の補助についてPRし、これまで以上に力を入れて行くため、本年度は10基設置の予想を立て予算を計上した。

【Q】天売、焼尻緊急患者輸送について、現在、ドクターヘリが配備された。新年度の

## 労働費

予算計上は、従来ヘリがないときと色々検討されたと思うが、これまでの経緯を含め今後どう利用していくのかと予算計上の理由について。

【A】医師の承認のもとに、気象条件等でフェリーが欠航の場合等その患者の状況を判断しドクターヘリ、巡視船を依頼しますが、ドクターヘリは夜間は運行出来ない事もあり漁船に頼ることになります。本年度の実績は、天売一件（一回10万円）、焼尻二件で（一回7万5千円）予算計上した。



【Q】留明中・北部通年雇用促進協議会について、現協議会は平成19年3月末でこれまでの季節労働者の冬期講習事業が全くなくなると言うことで、平成19年10月より22年3月末までの時限立法として設けられたものです。

しかし、この「通念雇用促進協議会」なるものは、季節労働者に対し仕事を与え賃金を支払うと言うものでありません。各企業への通念雇用要請や、季節労働者への講習や講座により技能・技術の向上を図ると言うものであり、収入面では皆無であります。そこで、この事業のこれまでの効果についてどうか。

【A】これは昔前から天塩までの広域的協議会を設けている。19年度は目標の10名に対し、6名という結果に終わった。20年度は目標10名で11名という実績である。

今までは事務所を別個に構えて相談窓口をおきながら訪問活動をしていたが、窓口へ来る数が少ないので、今年度

から事務所を本庁舎に移管し業務を行っていくことにした。

【Q】この協議会が1年後どうなるか判らないが、言えることは北海道、そしてこの地方には季節労働者が非常に多いと言うことです。従って何らかの対策を国や道に要請すること、町もその声を上げていく必要があると思う。

【A】季節労働者の集まりにはよく参加して事情は聞いています。大変だと言うことも認識している。大切なことは企業の活性化である。それによって雇用の広がりが出てくると思う。各市町村の首長も皆考えていることであり、雇用の場を確保し、安定した、安心して暮らせ地域の活性化に向け行動していきたい。

## 農林水産費

【Q】離島漁業再生支援交付金について、具体的にどのようなメニューか。

【A】17年度よりの継続事業でウニの自然放流、移植放流が主体で、新しい事業として4月中旬までに道に促進計画を出さねばならない。今進め

ているという段階である。

【Q】この交付金の今後の見通しは。

【A】17年度に始まり、21年3月で5年間の事業は終了する。22年度より新規事業として5年間、26年度まで取り組まれる。

【Q】後継者の育成なども含まれるのか。

【A】交付金の趣旨については創意T夫が主眼である。ソフト部分については地域との話し合いの中で取り組む。

【Q】農業被害貸付資金利子補助金の内容は。

【A】21年度の広域的冷害に対する資金の借り入れに対する利子補助で、町の利子補助率は0.45%となっている。

【Q】件数はどうか。

【A】件数は35件、融資総額は8,900万円である。

【Q】めん羊地元消費奨励補助金の内容は。

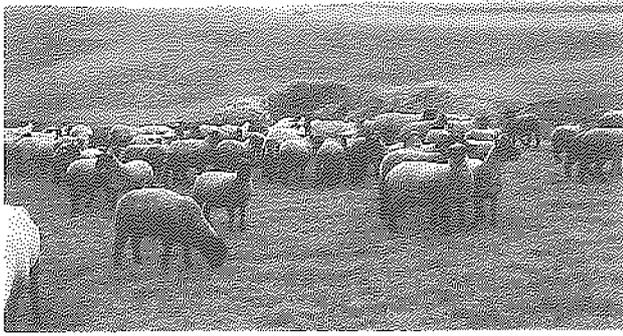
【A】地元ブランドを地元で定着させると言うことで、購入補助をするものである。

中味は要綱をつくり商店の仕入れ価額に補助金を

つけ購入しやすくするものがある。

【Q】20年度に指定管理者制度となり、町民の還元について政策的に出すとのことであったが具体的には。

【A】試算上ではあるが、枝肉が現在5,000円で卸されている。これに対しキロ当たり2,500円の補助をすれば、購買価額を5,000円程にできる。指定管理者とも話し合い、もう少し下げられることも考えられる。販売の時期は一番需要のある時期に合わせ、一定期間の予約販売を考えている。



【Q】農業試験所費で予算が増額されているが、これはピルベリーの試験栽培を拡大すると言ふことか。

【A】試験所費の多くはほ場整備である。

【Q】森林組合の件で組合に100万円補助をしたが、民有林振興普及事業補助金250万円に入っているのか。

【A】予算書の印刷が2月上旬で、その時点で100万円補助の取扱いが決まっていたので一括となっている。その後、話し合いの中で、今までの指導補助金と分けて、経営補助金として計上することになり、執行段階では留萌中部森林組合経営補助金100万円と言ふことで執行するのでご了承いただきたい。

【Q】組合が継続していけるのかどうか、職員体制を含めどうなっているのか。

【A】職員体制であるが、経理関係では1月より臨時雇用に4月以降も継続、現場関係では3月より雇用されることになっている。苦前において緊急雇用創出事業の活用で4月より1年間雇用と言ふことで進んでいる。

【Q】鳥獣害防止総合対策事

業補助金の内容について。

【A】鹿の電柵の設置である。総延長94,530メートル、受益戸数92戸。2分の1町補助。この事業の要綱・要領はこれから道が整備するので、それを持って申請し実施する。

【Q】めん羊牧場の件であるが、併せて2,000万を越える事業の内容と時期について。

【A】乾草舎整備工事であるが、飼育頭数が増えてきたので保管場所が必要となっている。

21年度に間伐材の活用と言ふことで、森林整備加速化林業再生事業が設けられ、間伐材のフル活用をするため道は国の補助で基金積み立てし、その基金を道の産業再生協議会を設け運用していく。この協議会のもとに市町村単位で地区部会を設け、事業の推進を図る。乾草舎は間伐材を利用することで、この事業を利用した。

【Q】体験学習等との内容もあり、タイムスケジュールとも併せて説明を。

【A】内示が求るのは4月上旬を予定している。その後、

実施設計に入り、6月から9月にかけて本体事業の考えである。

【Q】観光客が景色を眺め休憩するところがない。簡単な軽食等の休みどころが欲しいが。

【A】萌州ファームの方で自前の施設を利用し、やりたいとしていたが、まだである。町としては是非進めて欲しいと思っている。

【Q】もし基金があまり、来年以降も続いていくことがあるのか。

【A】22年、23年の事業として募集したが、22年全道的にかなり量が出て23年度については出来ない。22年でも大型のものは出来ないものがあつた。小さいものとして小平、羽幌が採択された。

【Q】野牛動物対策について、天売の海鳥繁殖地の保全について現在環境庁が中心になりウミガラスの保全をしている。環境保全はウミガラスのみでない。町が海鳥繁殖保護のため実施されると対策は。

【A】町が直接的に保護対策のための予算は取っていない。

【Q】住民が持ち込んだと思われるベツトが繁殖し、食害を与えている。何とか出来な

いか。

【A】以前猫を捕獲し処分することを検討したが、愛護団体の抗議があり実施出来なかった。その後避妊を獣医に委託したりしたが、繁殖力が強く効果が上がらず、検討しているが有効な手段がない。

【Q】狩猟免許取得奨励金の内容について。

【A】猟銃の講習会受講講習会申し込み手数料、狩猟免許予備講習費、申請手数料の補助である。

## 商工観光費

【Q】修学旅行誘致事業について、どの様な運動、支援をしているか。

【A】これまでの成果として杉並区の工業高校が5月に3泊4日、天売で2泊し天売では子供達との交流もされる。

【Q】誘致運動の成果と言ふが、どんな運動をしてきたのか。

【A】留萌、上川管内の各学校を回りチラシの配布。ツアー関連への事業所の呼びかけ、観光協会としても札幌では観光振興機構への働きかけを行

っている。町長が上京の折には、学校訪問等も行ってきた。

## 土木費

【Q】単独住宅の管理事業費13,726千円の内訳は。

【A】家賃収入12,492千円と共益金776千円が主なものである。

【Q】共益金月額800円で賄えるのか。

【A】管理費等で支出増も予想されるが、800円を維持したい。

【Q】財源となる家賃収入から管理費等の支出内容を明らかにした上で予算計上すべきでは。

共益費は内容を精査し、再検討すべきではないか。

【A】家賃収入から維持管理費を差し引いて残高を積み立てていく、共益金については従来からの金額を参考にした。

【Q】維持管理費を町が負担をし低家賃で入居させたいとの意向は理解するが、将来の大規模改修等を想定したとき、見通しは立つのか。

【A】家賃収入、共益金等関係課で確認をしながら執行し

ていく。解体工事等も含め新たにシミュレーションを示したい。

【Q】合宿誘致対応事業費の内訳は。

【A】大学野球部の合宿を想定しブルペンの設置・撤去等の費用が主なものである。

【Q】亜細亜大学野球部が来ることを想定したと言うが22年度は来るのか。

【A】現在のところ合宿は無理との情報が入っている。

【Q】スポーツ公園の施設は、合宿誘致を視野に整備をしてきた。今後の誘致の見通しをどう考えているか。

【A】社会教育課が窓口となり合宿誘致要綱等を作成し文化面にも抜け誘致運動を推進したい。

【Q】亜細亜大学野球部が来ないという事であれば予算は計上する必要がなかったのではないか。

【A】今後の誘致にも必要な設備でもあり、一般的に考え予算を計上した。

【Q】町道植樹樹整備の内容は。

【A】福寿川の南側に花苗を500本植える予定。

【Q】町中の緑が減ってきて

いる。植樹の計画はないか。

【A】22年度中に、町中の街路樹をどの様に育成していくかを関係課で協議をし、計画的に取り組んでいきたい。

【Q】街路灯の取替え補修工事費の内訳は。

【A】街路灯は現在459基ある。今まで59基修理したが老朽化も激しい、22年度は30基を修理する。

【Q】道路の新設改良工事はどこか。

【A】築別高台3線と焼尻の白浜、東浜等の簡易舗装工事である。

## 消防費

【Q】ハザードマップについて、従来のマップは津波への対応に不安がある。避難路や避難場所での心得等も挿入されるとういと思う。

【A】道においては、津波浸水予測図等を作成中である。それらも参考にしながら、避難場所・避難ルートなども十分に配慮したい。

## 教育費

【Q】合宿誘致の担当課が変わったようであるが、誘致推進のための予算はどう考えているのか。

【A】文化スポーツ振興事業補助金として50万円を計上している。

【Q】合宿支援だけに当てるのか、誘致運動はどうするのか。

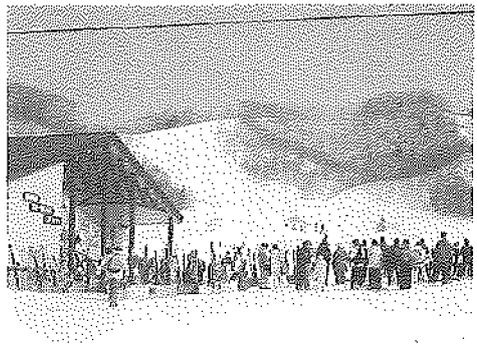
【A】合宿費の一部を補助し誘致運動にも当てたい。

【Q】合宿は地域経済に効果を及ぼすだろうが、各学校の活動に助成することは矛盾を感じるがどうか。

【A】合宿誘致することによって、学校の交流やちびっ子教室の開催等地元の文化スポーツの活性化に通じるものとする。

【Q】道内各地でも大掛かりな誘致運動を展開している積極的、継続的な運動を進めることが肝要と思うが。

【A】関係課とも十分に協議しながら、インターネット等も活用し広く発信していきたい。



【Q】社会教育施設整備工事請負費の内訳について

【A】サッカー場のフェンスの修理とパークゴルフ場のポンプの取替え工事等。

【Q】町民の健康づくりの施設としてのパークゴルフ場の協力金とスキー場のリフト料金に不公平感がないか。

【A】リフト料金は少し高いと思うが、今減額する考えはない。

【Q】親子で半日スキーを楽しむと5千円はかかる。パークゴルフ場では協力金を入れないでプレーをしている実態もあると聞くがどうか。

【A】パークゴルフ場は協力金でスタートしておりプレーヤーの正しいマナーを強く期待したい。

【Q】学校給食の地元食材の利用はどうか。

【A】使える食材は可能な限り利用している。地元からの申し込みもある。

【Q】利用について、生産者との話し合いを持つ事が必要ではないか。

【A】今後は、旬の食材の活用などを考え農協や漁協との話し合いを考えたい。

【Q】学校児童図書は毎年予算計上されているが、利用状況はどうか。

【A】天完焼尻校では朝読書を実施しているが、市街校では統一した活動は聞いていない。

【Q】国際読書年を迎えるに当たっての具体的な方策は。

【A】一冊の本との出会いを大切に、古い図書の整理なども含め本に触れ合う機会を多くし意欲を高めたい。

【Q】小中学校教育費の中に、パソコンの借り上げとあるが、教師用の配置は、また個人情報等の流出がよく聞かれるが、管理はどうされているか。

【A】教師用は一人一台のパソコンを配置している。情報の管理については万全

を期すよう指示をしている。

【Q】ソフトの更新時等における配慮は。

【A】新規購入等しながら万全を尽くしている。

## 介護保険事業

【Q】特養ホームの第一期工事が終わり60人がユニットに移されたが、その後ドアなどの一部手直し工事があり、その費用が300万円支出され、今後更に補修のため800万円の予算を計上したとのこと、その内容の説明を。

【A】非常口の段差の解消やドアの開放等の工事が主なものである。

【Q】新しい建物に一千万円近い予算を支出することに問題がある。何故その様になったのか、しっかりと検証する必要があると思うがどうか。

【A】消防法上、また施工上からは問題はないが、完成後現場から不都合な部分や不安を感じる部分があることが判明し改良補修をすることができた。設計段階での打ち合わせが不十分であったことをお詫

びしたい。  
二期工事に向け十分に検証していききたい。



## 水道事業

【Q】羽幌川から取水堰工事が町外の業者で行っているが、町内の業者では施工できないか。

【A】3年間の委託工事ということで公募したが地元業者からの申し込みがなかった。

【Q】そもそも非常時等を想定した時、地元業者が大切と思うがどうか。

【A】地元業者が応募してくれることを期待したい。

【Q】水道事業の資産の部の現金保管は、どの様な方法で保管しているのか。

【A】預金通帳による保管である。

【Q】金利面からみて、普通預金より定期預金の方が有利ではないか。

【A】ペイオフの事もあり普通預金にしてきたが、監査委員からの指導もあり保管方法について、財務課とも相談し善処したい。



## 総括質疑

町長は、町政執行方針の中に「元氣な町づくり」を訴えました。経済の活性化がなされなければ元氣とは言えません。

農業・漁業・商工業をどう元気にするのか。

民間の力を待つだけでなく、行政自ら積極的に取り組むことが、新たな仕組みを作り出していくものと考えます。

従来から、農水産物の一次産品に付加価値を付けての販売、流通させる取り組みを行政が主体的に取り組むことを訴えてきました。

他地域では様々な取り組みを試みています。

羽幌町に於いても産業団体と連携し新たな産業の創出に是非取り組んでいただきたい。

この度の商工会を中心とした地域活性化戦略会議の基本条例は時期としての得た方法の一つと考えます。

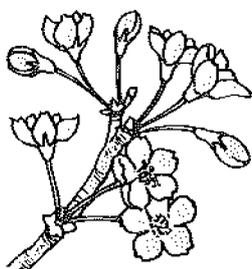
農水産業（第一次産業）の産品を加工（第二次産業）し流通販売（第三次産業）する事でその産業の可能性、活性

化。他産業との提携などで町全体の活性化、そして雇用の創出など様々な経済効果が生まれてくるものと考えます。

是非、具体的な取り組みを官民一体となって実行されることを期待します。これらについて理事者の考えを伺います。

【町長】六次産業の創設は町に元氣を与えるものと思えます。一次産業それぞれが、その生産販売に知恵を絞り、二次三次産業の工夫を加え取り組みしていくことは、大きな意味での協働の形でもある。我が町の産物にも全国に誇れるものがある。

粘り強く、力を合わせて取り組む気持ちを大事にしながら、六次産業創出に向けての体制づくりに役場の横断的な連携をとりながら町の活性化、元氣につなげていきたいと思っております。



# 所管事項調査

## 総務産業常任委員会

(平成22年1月19日開催)

### 港湾整備計画の

#### 進捗状況に

ついて

○資料に基づき概要説明を受ける。

・国の港湾予算が事業仕分けにより平成21年度比で約17%程度減額となっている。

・中央埠頭は24年度まで要望している。離島を抱えていることもあり、重点的に開発建設部に要請している。

・整備は過去にも延びた経緯もあり、計画どおり施工されるよう要望している。

・取り付け道路は開建で法線と事業費等の提案をして貰い内部検討の結果、2条取り付け道路から大通1丁目(5間道路)を経て、国道に出すルートで、既存道路を活用し一番現実的として今後検討していくと言う結論となった。

【質問】現状の道路を整備するのか。そのままだと考えて

いるのか。

【回答】現状のままと考えている。

【質問】町が決めたルートに對し、通りやすいルートは他にもある。大型車輛の防止が出来ないので。

【回答】公道であり規制出来ないが、要所に表示板等を取り付けたい。

【質問】南1丁目5間道路は、2条通りと同じ幅で大型車が回るのに心配ないと言うが大丈夫か。また、地盤は大丈夫なのか。道路調査を開建が実施し終了次第報告するとしていたが、今だその報告がない。

【回答】左折の時は中央線を少しはみ出すと思う。交通安全上の対策を検討する。地質については下水道の実施時期のデータで安全性がある。開建が調査した道路調査は後で調べ回答する。

【質問】1丁目5間通りは歩道が狭く、かなり傷んでいる。整備は考えているのか。

【回答】随時補修していく。

【質問】ホテルからフェリーを結ぶ連絡道路(5間通り・

橋から右折した臨港通り)は景観的にも良くなり、特に臨港道路は歩道もなく長雨の時に水浸しの危険性もあり整備すべきと思う。

【回答】了解した。

【質問】平成22年度には臨港道路周辺の住民に説明し、安全対策や様々な意見を聞く必要があると思うが。

【回答】了解した。

(平成22年2月9日開催)

### 水産の振興に

ついて

○資料に基づき概要説明を受ける。

・刺網被害対策共同利用事業として平成15年度から3分の1補助を実施。

・町単独で漁業近代化資金利子補給実施。

・平成22年度新規事業として、水産物新荷捌施設取水管設置事業と漁業経営健全化促進資金利子補給事業及び漁業緊急保証対策資金利子補給事業を実施する。

【質問】トド被害が大きく、操業が減っているとの説明だが、必ずしもリンクしているとは考えづらい、理由等を把

握しておく必要があると思う。漁師や漁協に政策を生かすためコンタクトを取って欲しい。

【回答】体系的な調査と実施状況の確認については必要だ、今後調査をしっかりやっていく。

【質問】就労人口も多く、水揚げもかなりある。近代化資金について根本的に考えても良いのでは。

【回答】漁船がほぼ近代化資金を借りるメインになるので、漁船数がベースになると思う。羽幌が今405で管内ではかなり多く、苦前と同じ率で申込があった場合1,200万円では済まない。その辺りの見極めが難しく苦慮している。

【意見】町財政の中で無制限に増やしていくことは避けなければならぬが、次の課題として検討して欲しい。

(平成22年2月9日開催)

### 農業試験所の

#### 運営状況に

ついて

# 文教厚生常任委員会

○農業試験所の運営は大きく分けて3つの事業。  
・施設管理業務は試験所のほ場を含め全ての管理に関する業務。

(平成22年1月14日開催)

## 町単独住宅の管理運営について

・平成17年から始まったビルベリーの試験栽培で現在30株育成中。平行してブルーベリーの品種試験として5種類200本の苗をほ場に定着している。成果は約60kg収穫し、町米養教室と一部を農協女性部へ依頼し活用方法を検討している。

\*雇用促進住宅買取りに伴って条例を制定する。

【質問】離島よりの入院患者の家族などが一時的に入居するための対応は条例の中に可能か。

【回答】今後、検討をしてみたい。

【質問】駐車場の利用料金の徴収を入居条件に入れるか、あるいは契約書に明記するか等、入居後のトラブルが発生しないよう留意が必要では。

【回答】現行の契約等があるので、将来的には公営住宅の駐車場と同様、月額で徴収をするよう検討をしたい。

また、自治会とも話し合い管理の方法を確認したい。

【質問】住宅を管理する役場が近くにあるのに管理人の採用は必要か。

【回答】関係課と協議の結果管理人は置かないこととした。

## 個人住宅改修

### 促進助成事業について

\*快適な住環境の整備並びに町内建設業者の振興及び雇用の安定を図る事を目的とする。

\*補助金 総額 500万円

\*補助条件 改修工費が、百万円以上で交付条件に該当するものに、20万円を補助する。

\*3年間の時限条例とする。

【質問】空き家で古く危険と見られる建物も多くある。解体も対象にしてはどうか。

【回答】今回は増改築のみを対象としている、空き家等については、別途方法を考えてみたい。

## 特別養護老人ホームの進捗状況について

\*何点かの課題が生じている。  
・特浴槽にストレッチャーが入らない。  
・お湯の出方が少量で浴槽にお湯を入れるのに時間がかかる。こと等が判明。配管の取り替えなど改善を図りたい。

【意見】新年度からの多床棟建設では、現場職員との連絡を密にすることを強く要望する。

## 教育施設整備 基金の設置について

\*21年度には、2億円。  
22年度は、1億円を積み立て、その後は財政状況を見極めながら積み立てたい。  
\*22年度は、羽幌小学校校舎の耐力度調査を実施する。

## 議会日誌

【意見】小学校の改築と合わせ保育所の併設も視野に入れて教育委員会としても検討して見ることも必要では。

### 〔2月〕

- 9日・総務産業常任委員会
- 10日・医療問題調査研究特別委員会

- ・文教厚生常任委員会
- 17日・第1回羽幌町議会臨時会
- ・議員説明会

### 〔3月〕

- 4日・議会運営委員会
- 9、12日・第2回羽幌町議会定例会
- ・議員説明会
- ・各会計予算特別委員会
- ・医療問題調査研究特別委員会

### 〔4月〕

- 14日・議会広報特別委員会
- 15日・文教厚生常任委員会
- 16日・第3回羽幌町議会臨時会
- ・議会運営委員会
- 21日・議会広報特別委員会